

八戸圏域水道企業団 令和 6 年度水道事業会計 決算の概要

令和 7 年 8 月 7 日
八戸圏域水道企業団
経 営 審 議 会

目次

1.業務実績	3
2.決算報告書	10
3.財務諸表	15
4.その他		
(1)主な建設改良工事		20
(2)給水収益の推移		21
(3)企業債償還状況		22
(4)留保資金の状況		23
(5)経営比較分析		24

1.業務実績

人口・世帯・配水量・有収水量
前年度比較

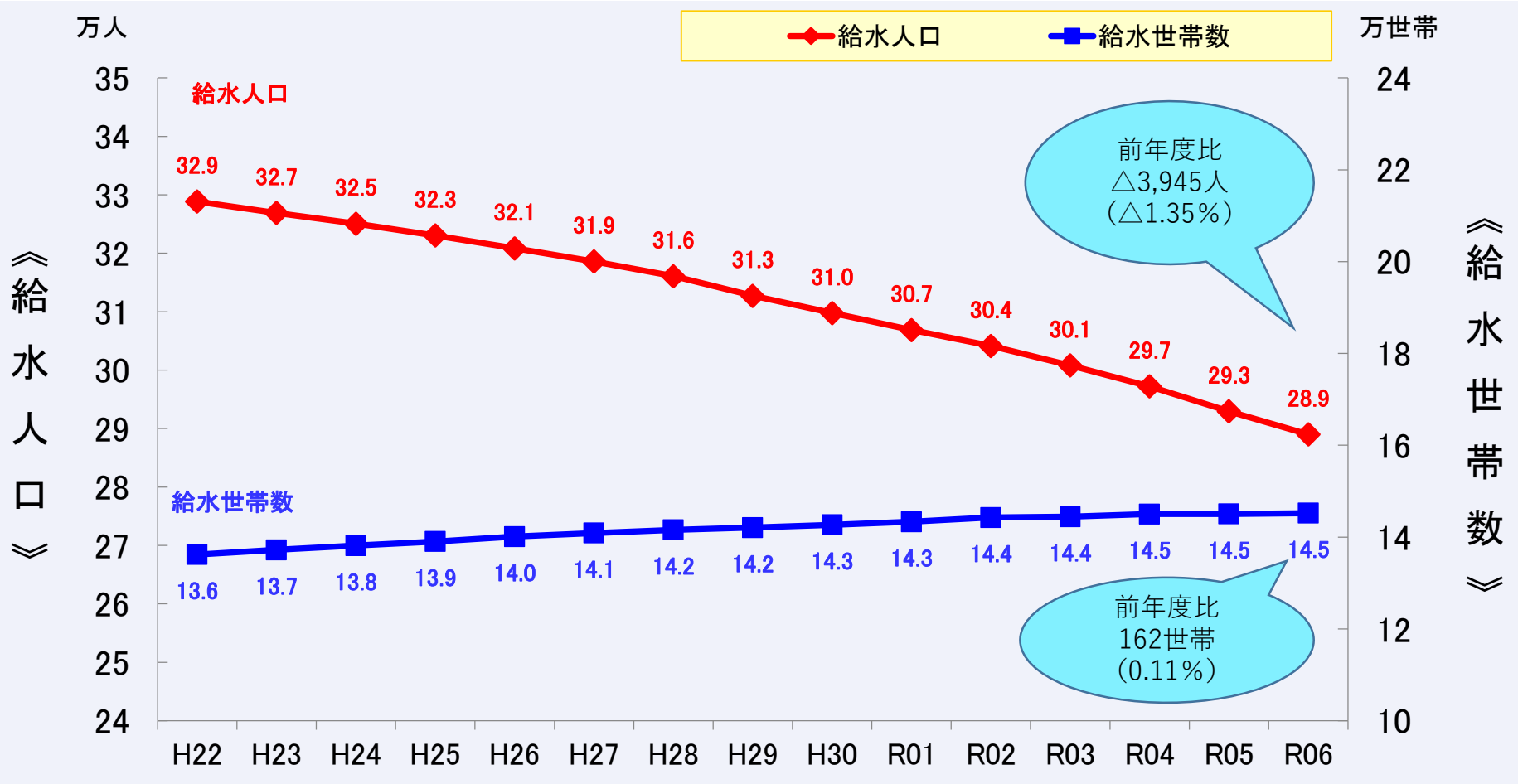
1.業務実績

〔前年度比較〕

事 項	令和6年度	令和5年度	増 減	増減率
① 給水人口	289,008人	292,953人	△3,945人	△1.35%
② 給水世帯数	145,212世帯	145,050世帯	162世帯	0.11%
③ 年間配水量	29,699,429m ³	29,551,521m ³	147,908m ³	0.50%
④ 一日平均配水量	81,368m ³	80,742m ³	626m ³	0.78%
⑤ 一日最大配水量	8月9日 88,286m ³	8月11日 90,053m ³	△1,767m ³	△1.96%
⑥ 年間有収水量	26,588,671m ³	26,624,066m ³	△35,395m ³	△0.13%
⑦ 有収率 ⑥÷③×100	89.53%	90.09%	△0.56ポイント	—

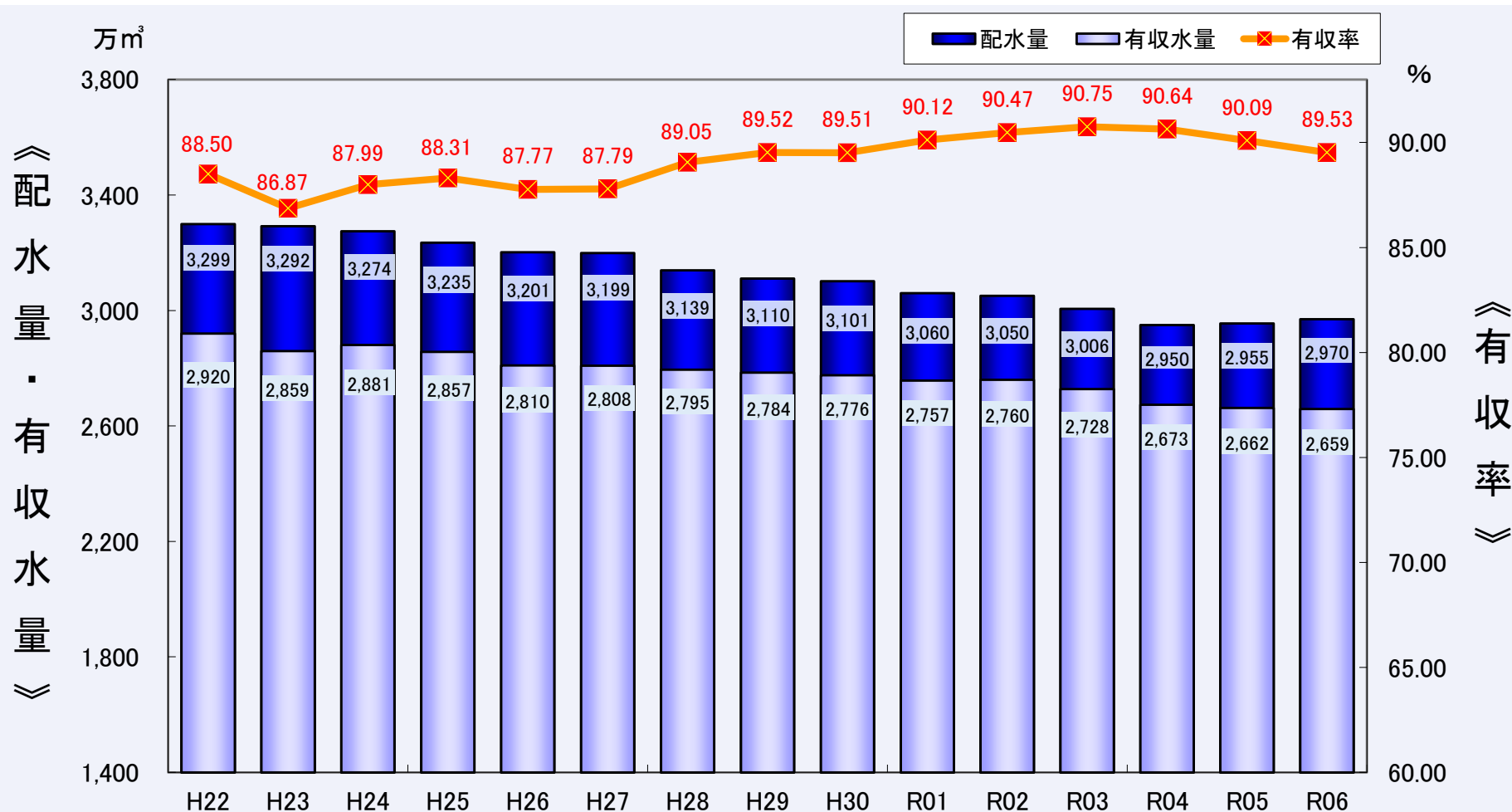
①給水人口・②給水世帯数の推移

給水人口は、平成14年度の33万9,149人をピークに減少しています。
給水世帯は、僅かに増加はしておりますが、横ばい傾向となっております。



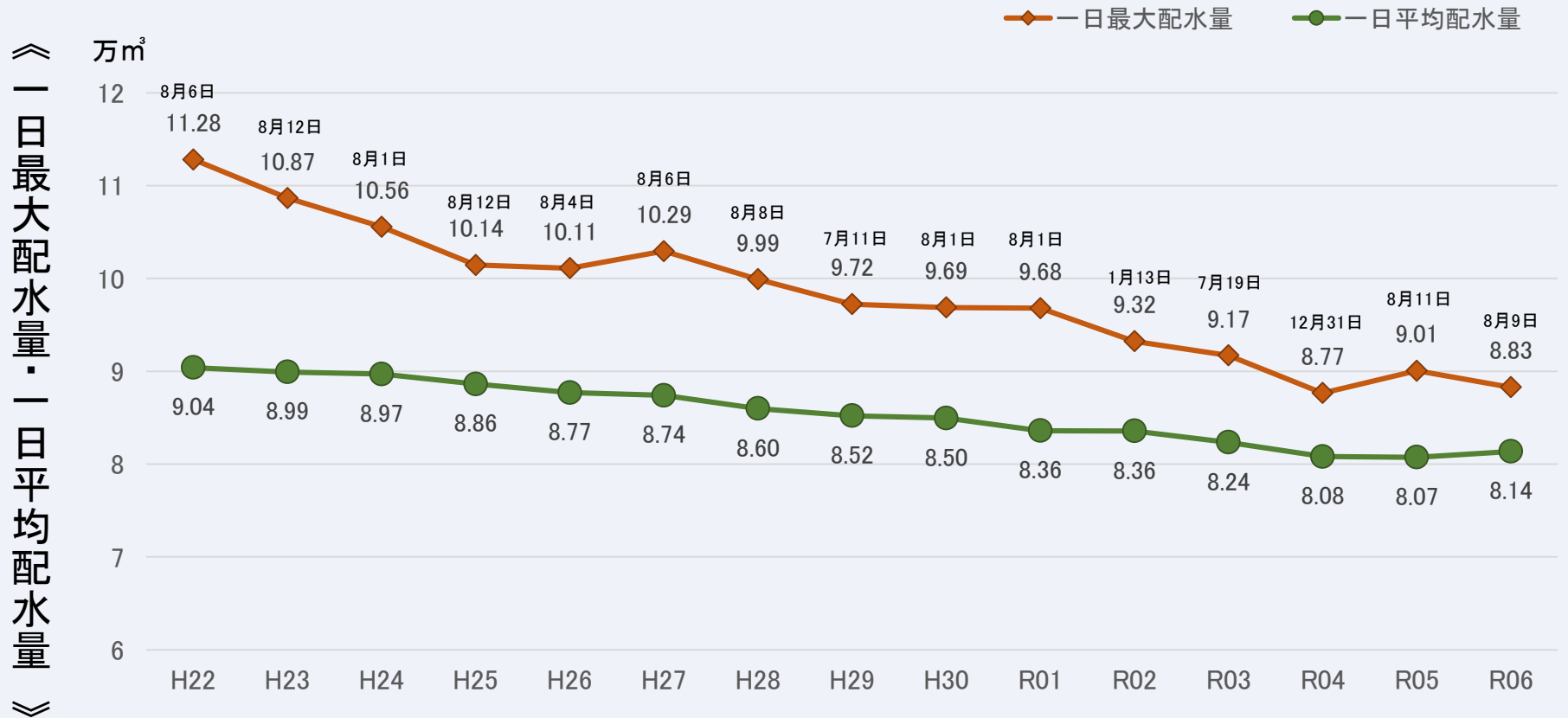
③配水量・⑥有収水量・⑦有収率の推移

配水量・有収水量は、平成9年度の3,651万506^m、3,071万4,683^mをピークに減少傾向にあります。令和6年度の配水量は、前年度より僅かに増加し、有収水量は僅かに減少しました。有収率(配水した水がどれだけ収益に繋がっているかを表す)は、前年度より減少しました。

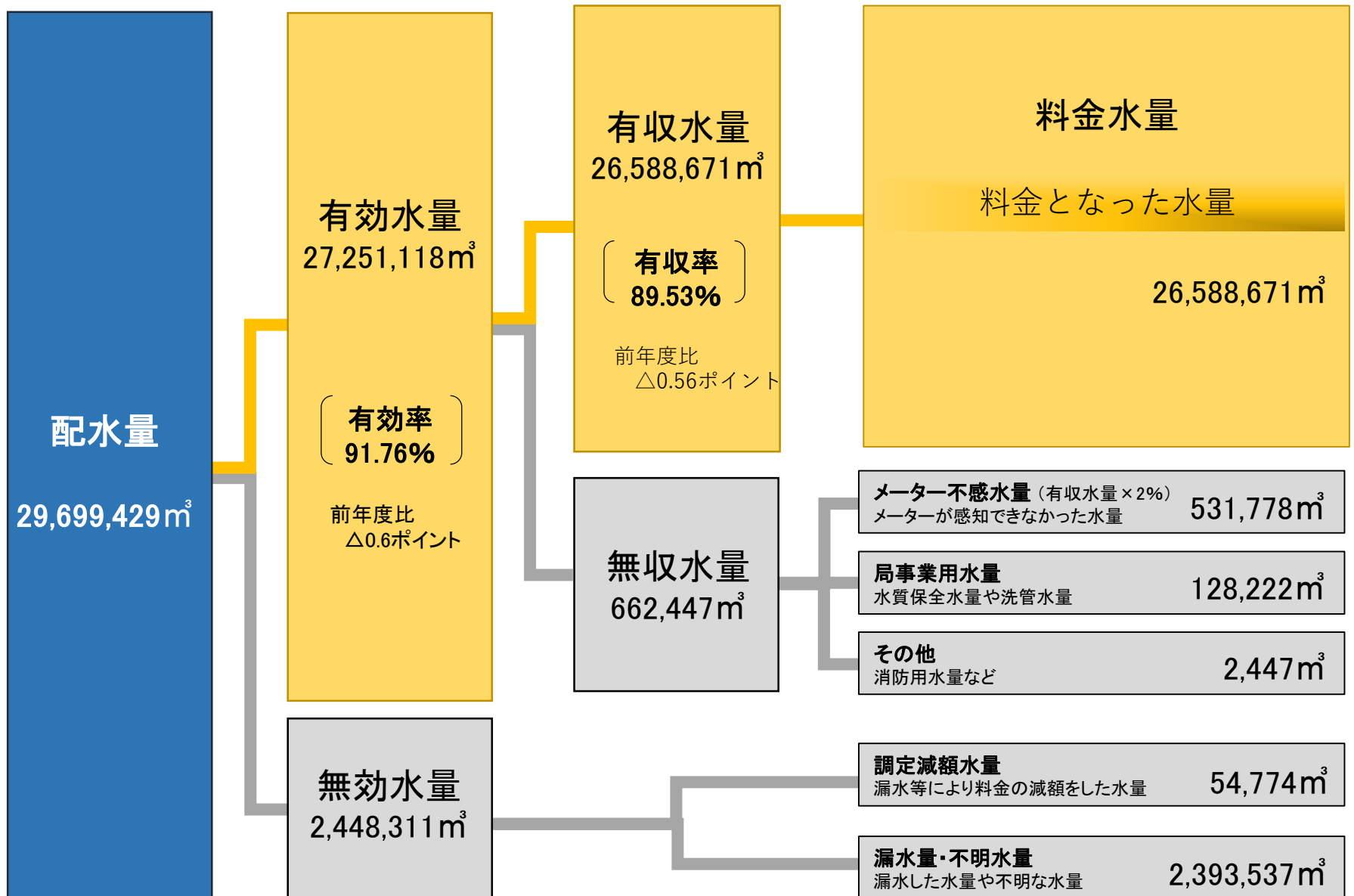


④一日平均配水量・⑤一日最大配水量の推移

令和6年度の一日平均配水量は、前年度より増加しました。
7月下旬からの夏が続いた8月9日に、最大配水量を記録しました。



③年間配水量の内訳



③年間配水量の内訳（前年度比較）

	6年度	5年度	増減	増減率
配水量	29,699,429m ³	29,551,521m ³	147,908m ³	0.5%
有効水量	27,251,118m ³	27,292,336m ³	△41,218m ³	△0.2%
有収水量	26,588,671m ³	26,624,066m ³	△35,395m ³	△0.1%
料金水量	26,588,671m ³	26,624,066m ³	△35,395m ³	△0.1%
無収水量	662,447m ³	668,270m ³	△5,823m ³	△0.9%
メーター不感水量	531,778m ³	532,479m ³	△701m ³	△0.1%
局事業用水量	128,222m ³	130,859m ³	△2,637m ³	△2.0%
その他	2,447m ³	4,932m ³	△2,485m ³	△50.4%
無効水量	2,448,311m ³	2,259,185m ³	189,126m ³	8.4%
調定減額水量	54,774m ³	72,184m ³	△17,410m ³	△24.1%
漏水量・不明水量	2,393,537m ³	2,187,001m ³	206,536m ³	9.4%

2.決算報告書

予算に対する決算の状況

2.決算報告書

〔予算の執行状況〕

消費税込み

(1) 収益的収入及び支出(損益取引)

単位:千円

収益的収入	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ② - ①
水道事業収益(A)	9,005,769	9,045,669	39,900
営業収益	7,900,346	7,909,233	8,887
営業外収益	1,105,422	1,136,436	31,014
特別利益	1	0	△1

収益的支出	予算額 ③	決算額 ④	翌年度への 繰越額 ⑤	不用額 ③-④-⑤
水道事業費(B)	8,163,926	8,034,970	2,507	126,449
営業費用	7,871,546	7,757,461	2,507	111,578
営業外費用	289,830	276,731	0	13,099
特別損失	800	778	0	22
予備費	1,750	0	0	1,750

収支差引(A) - (B)	予算差引額	決算差引額	増減額
	841,843	1,010,699	168,856

(2) 資本的收入及び支出(資本取引)

消費税込み

単位:千円

資本的收入	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ② - ①
資本的收入(C)	737,889	741,331	3,442
企業債	400,000	400,000	0
工事負担金及び寄附金	121,328	125,819	4,491
国庫補助金	53,542	53,542	0
水道加入金	163,019	161,970	△1,049

資本的支出	予算額 ③	決算額 ④	翌年度への 繰越額⑤	不用額 ③-④-⑤
資本的支出(D)	4,955,725	4,626,879	188,133	140,713
建設改良費	4,077,199	3,748,354	188,133	140,712
企業債償還金	878,526	878,525	0	1

収支差引(C)-(D)	予算差引額	決算差引額	増減額
	△4,217,836	△3,885,548	332,288



補てん財源を使用

(3)補てん財源

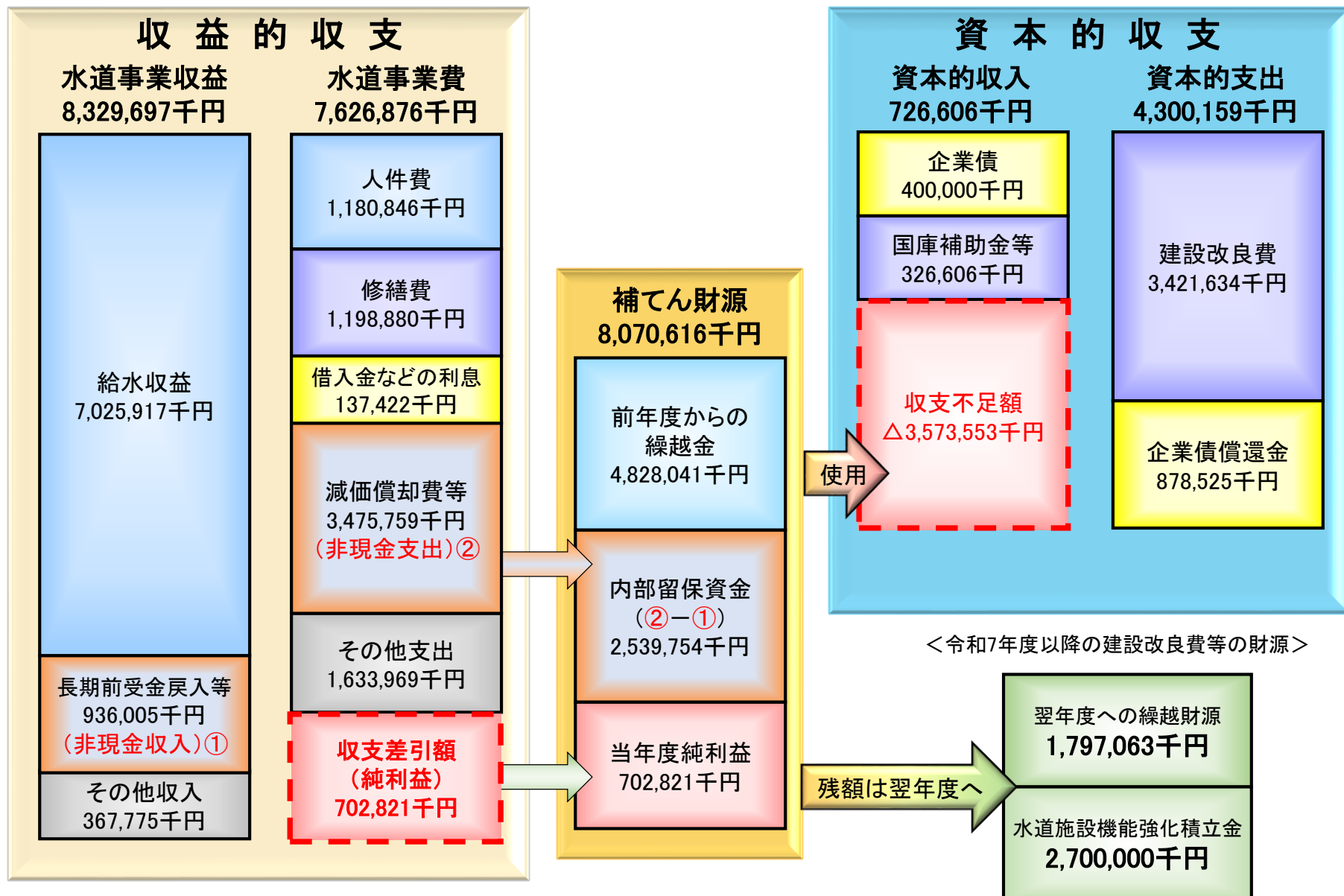
消費税込み

単位:千円

区 分	現 有 財 源	R6年度使用 (資本的収支不足額)	翌年度への繰越
消費税資本的 収支調整額	311,995	311,995	0
損益勘定留保資金	3,488,126	3,297,486	(繰越の財源) 190,640
減債積立金	200,000	200,000	0
建設改良積立金	1,179,669	76,067	1,103,602
水道施設機能 強化積立金	2,500,000	0	2,500,000
当年度純利益 (消費税抜き)	702,821	0	※ 702,821
計	8,382,611	3,885,548	4,497,063

※当年度純利益は、減債積立金へ 2億円、建設改良積立金へ 3億282万1千円、水道施設機能強化積立金へ 2億円積み立て、令和7年度以降の建設改良事業や企業債償還の財源となります。

収支状況(図)



3.財務諸表

損益計算書と貸借対照表

3. 財務諸表

消費税抜き
単位:千円

(1) 損益計算書〔前年度比較〕

科目	令和6年度	令和5年度	増減額 (R6-R5)	増減の主な理由
営業収益 ①	7,207,108	7,168,711	38,397	
給水収益	7,025,917	7,014,239	11,678	水道料金収入の増
受託工事収益	1,149	162	987	共同施設の設備更新工事に伴う洋野町負担金の増
その他営業収益	180,042	154,310	25,732	道路改良工事に伴う水道管移設工事負担金の増
営業費用 ②	7,476,788	7,163,331	313,457	
原水及び浄水費	1,093,789	970,517	123,272	各施設整備費の増など
配水及び給水費	1,290,621	1,173,454	117,167	配水管更新事業に伴う給水管切替工事費の増など
漏水対策費	147,661	155,036	△7,375	人事異動等による人件費の減など
量水器費	226,185	235,307	△9,122	量水器検定満期取替件数の減
受託工事費	1,149	162	987	共同施設の設備更新に伴う洋野町負担工事費の増
業務費	517,538	515,758	1,780	コンビニ払込手数料の増など
総係費	722,292	649,132	73,160	人件費の増など
議会費・監査委員費	1,794	1,733	61	旅費の増など
減価償却費	3,430,644	3,391,303	39,341	固定資産の減価償却費の増
資産減耗費	45,115	70,929	△25,814	馬淵川系導水管更新工事の完成(令和5年度)に伴う除却費の減
営業利益 (①-②) ③	△269,680	5,380	△275,060	

消費税抜き

単位：千円

(1) 損益計算書〔前年度比較〕

科 目	令和6年度	令和5年度	増減額 (R6-R5)	増減の主な理由
営業外収益 ④	1,122,590	1,046,189	76,401	
受取利息	2,371	490	1,881	定期預金利息の増
下水道業務負担金	37,679	35,320	2,359	電算処理委託料の増
構成団体負担金	15,448	12,630	2,818	児童手当負担金の増
長期前受金戻入	926,346	891,960	34,386	補助金等長期前受金収益化額の増
資本費繰入収益	12,327	15,931	△3,604	統合した簡易水道事業債の元金償還金に対する繰入金の減
雑収益	128,419	89,858	38,561	能登半島地震に係る応援経費精算の増など
営業外費用 ⑤	149,381	148,436	945	
支払利息	137,422	145,787	△8,365	企業債支払利息の減
雑支出	11,959	2,649	9,310	災害派遣費用の増など
経常利益 (③+④-⑤) ⑥	703,529	903,133	△199,604	
特別損益 ⑦	△708	20	△728	過年度損益修正損の増
当年度純利益 (⑥+⑦)	702,821	903,153	△200,332	

令和6年度決算

①総資産 920億3,687万円

②有形固定資産が全体の80%以上を占めている

③負債が全体の40%

④資本は全体の60%

(2) 貸借対照表

資産の部	固定資産 84,522,794千円 (92%)	負債の部	固定負債 11,245,812千円(12%)
	うち有形固定資産 74,270,606千円 (81%)		流動負債 1,935,100千円(2%)
			繰延収益 23,503,763千円 (26%)
		負債合計 36,684,675千円(40%)	資本の部
流動資産 7,514,072千円(8%)	剰余金 5,449,049千円(6%)		
	資本合計 55,352,191千円(60%)		

資産合計 92,036,866千円 (借り方)	=	負債・資本合計 92,036,866千円 (貸し方)
-------------------------------	---	----------------------------------

4.その他参考資料

- (1) 主な建設改良工事
- (2) 水道料金収入の推移
- (3) 借入金の推移
- (4) 留保資金の状況
- (5) 経営分析

4. その他

(1) 主な建設改良工事

○施設工事

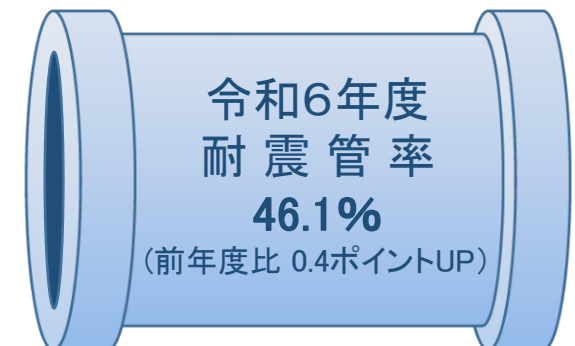
- ・新ひばり野配水塔・配水池築造工事(R5～R9継続事業)
- ・三島浄水場電気設備更新工事
- ・南高台配水場送水ポンプ更新工事(R5～R6継続事業)
- ・広域監視制御システム機能増設工事(R5～R6継続事業)
- ・白山浄水場中央管理室信号中継盤更新工事
(R5～R6継続事業)
- ・馬淵川水質モニター更新工事(R5～R6継続事業)など



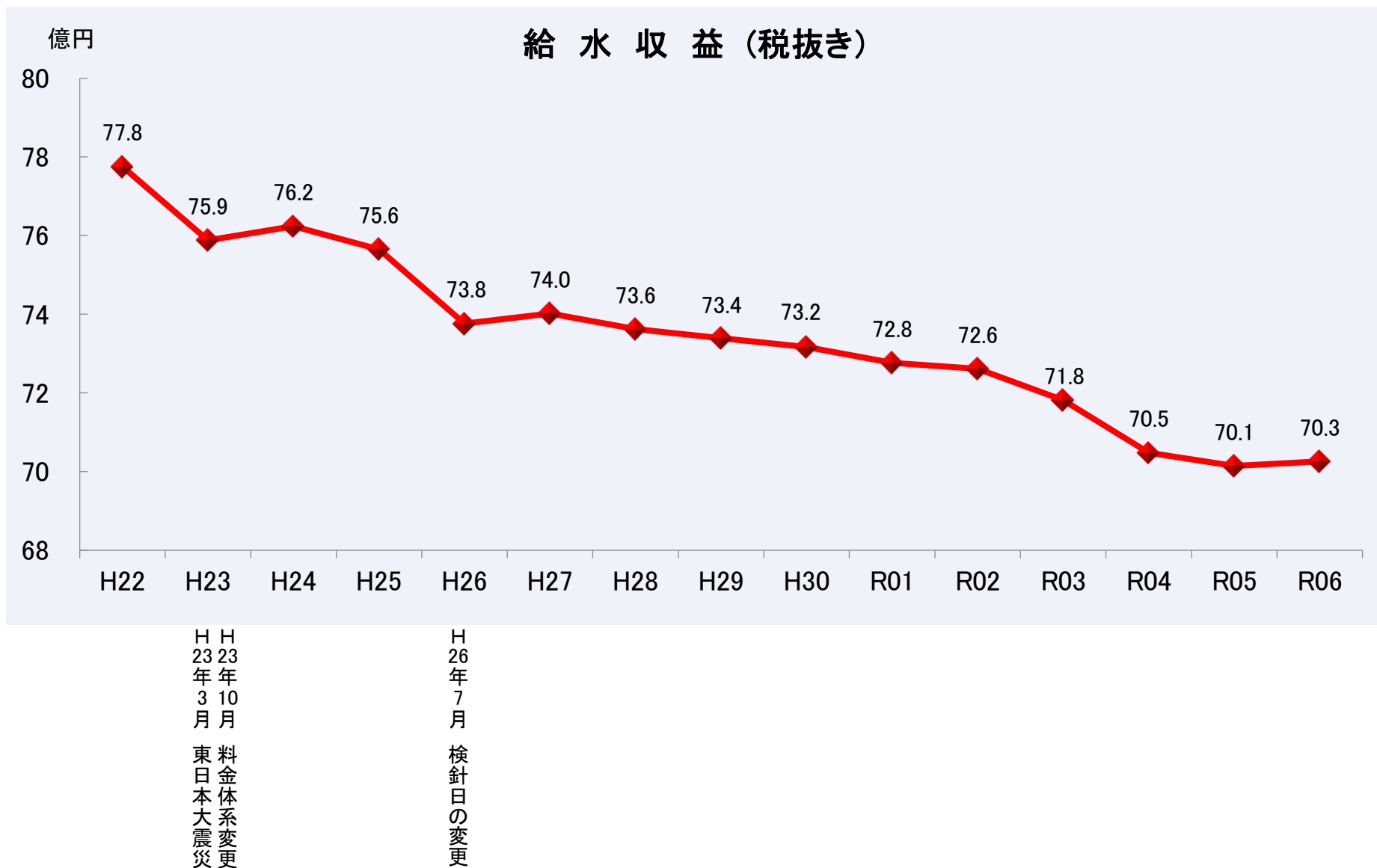
新ひばり野配水塔・配水池築造工事

○管工事

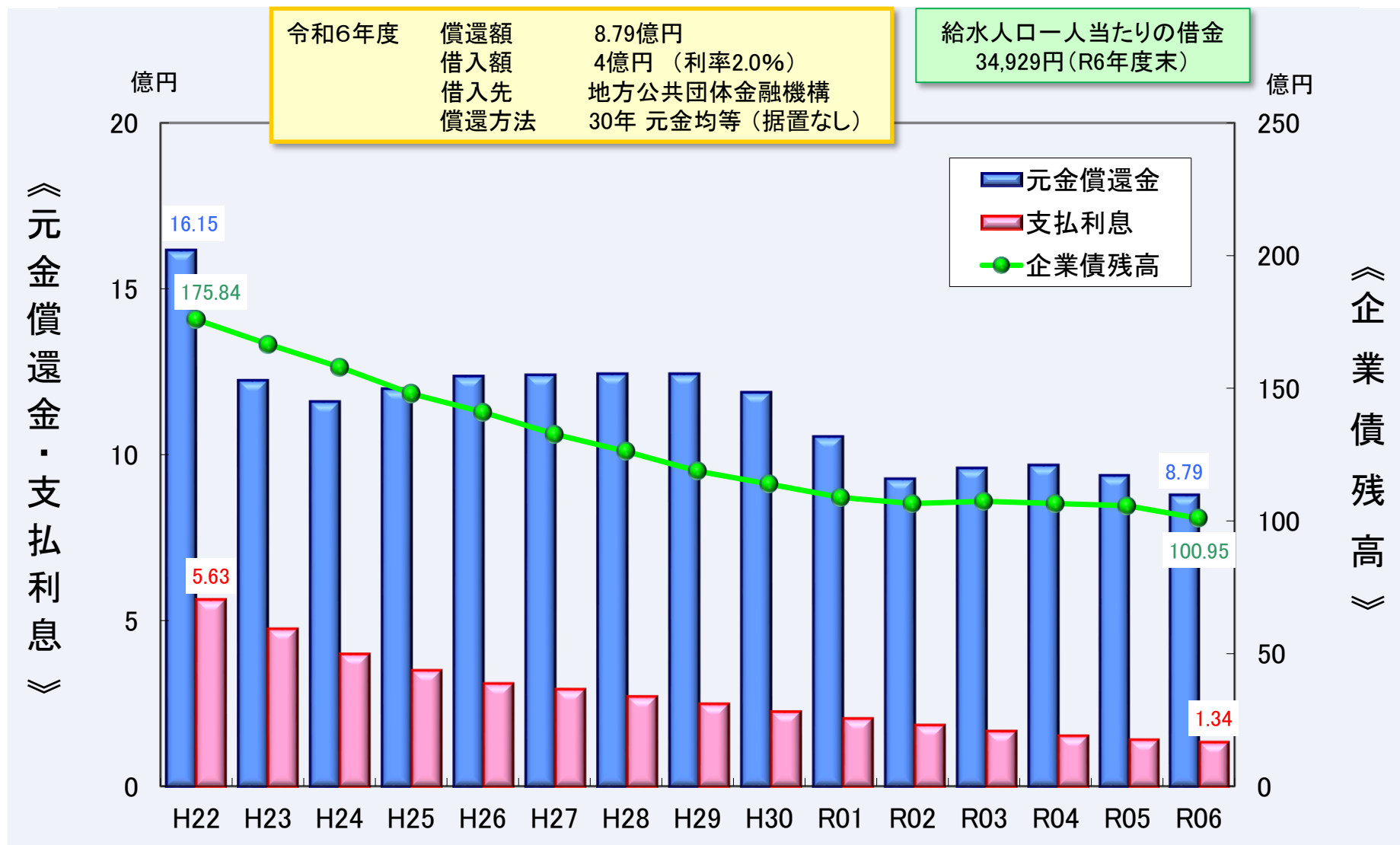
- ・八太郎大橋添架管更生工事(R6～R7継続事業)(更生438m 更新112m)
- ・送水管更新 18m
- ・配水管布設 4,296m
- ・配水管更新 5,268m



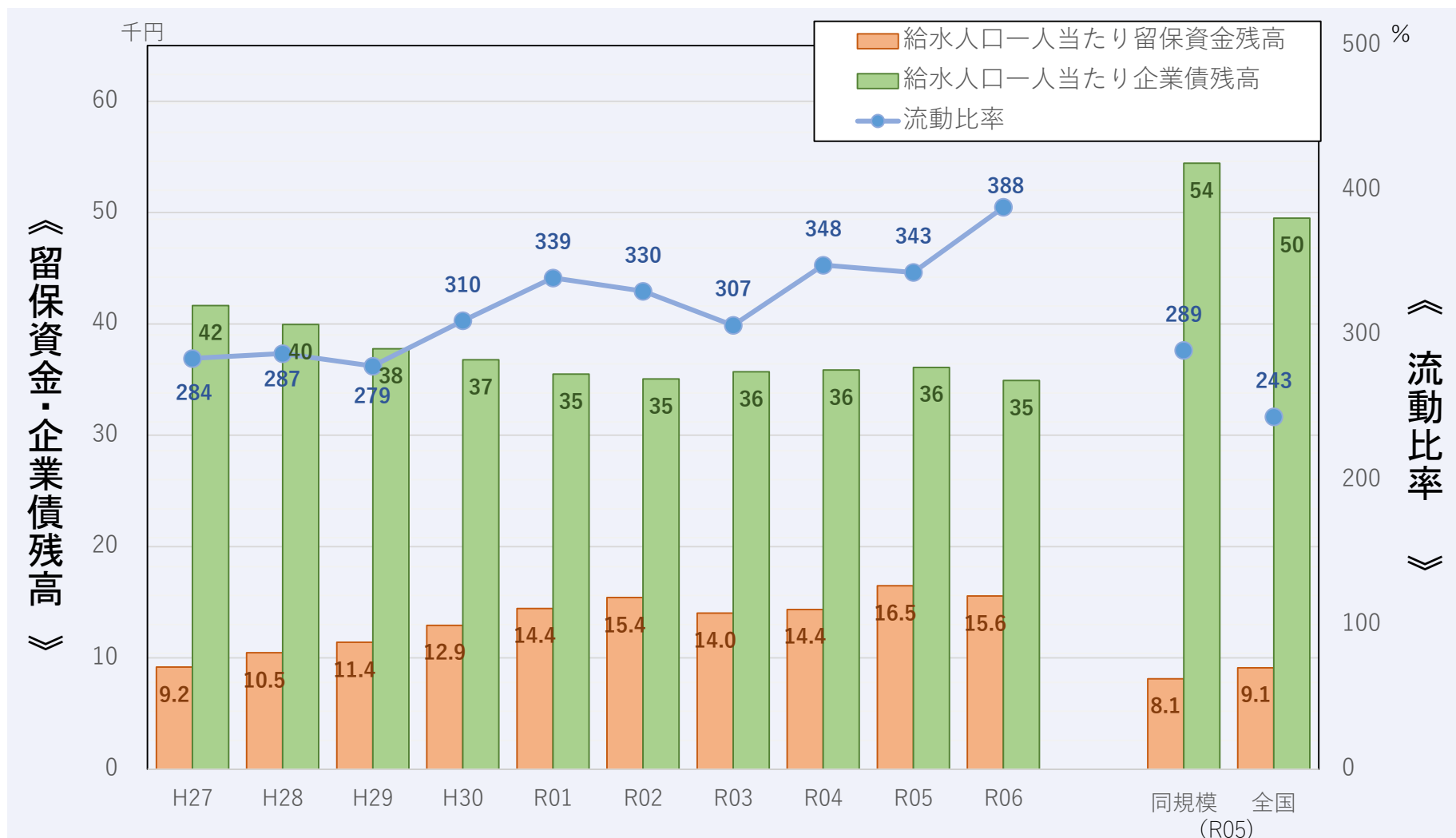
(2) 給水収益の状況



(3) 企業債償還状況



(4) 留保資金の状況



同規模：給水人口15万人以上30万人未満 ・ 末端水道事業計（企業年鑑より）

流動比率 = 流動資産 / 流動負債 × 100 < 短期的資金の状況 >

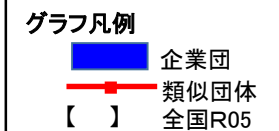
留保資金残高 = (投資 + 流動資産) - (流動負債 + 固定負債引当金 + 積立金)

企業債残高 = 固定負債・建設改良に係る企業債 + 流動負債・建設改良に係る企業債

類似団体: 給水人口15万人以上30万人未満

※令和3年度までは給水人口30万人以上(指定都市除く)

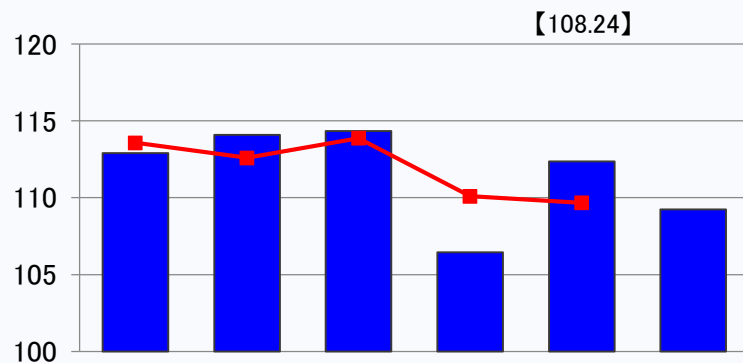
全 国: 末端水道事業



(5) 経営比較分析

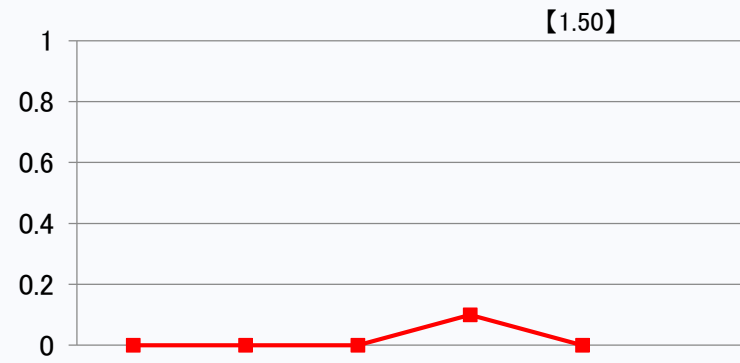
1. 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率(%)



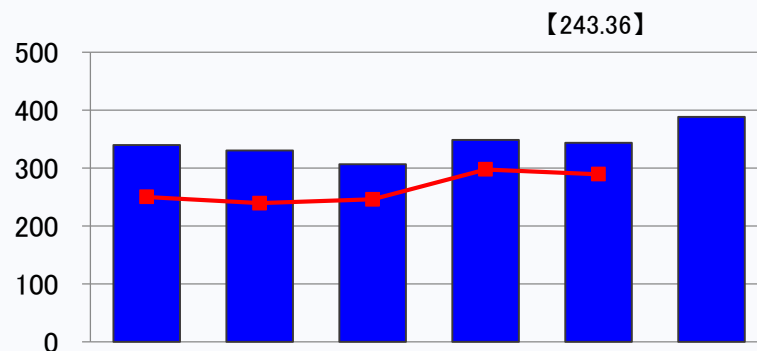
	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	112.90	114.09	114.33	106.44	112.35	109.23
類似団体	113.57	112.59	113.87	110.04	109.67	-

② 累積欠損金比率(%)



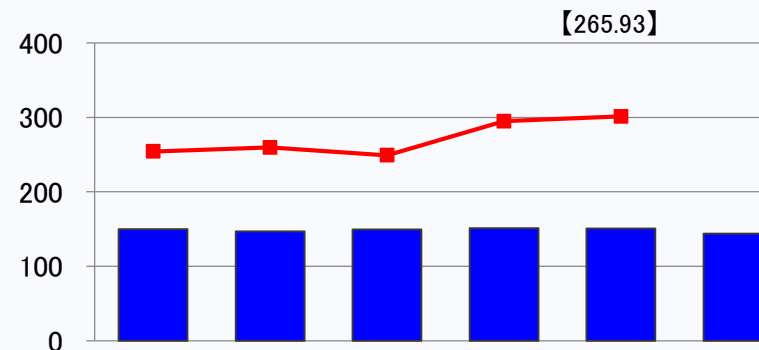
	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
類似団体	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00	-

③ 流動比率(%)

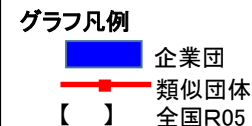


	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	339.43	330.24	306.68	348.32	343.30	388.30
類似団体	250.03	239.45	246.01	297.54	289.44	-

④ 企業債残高対給水収益比率(%)



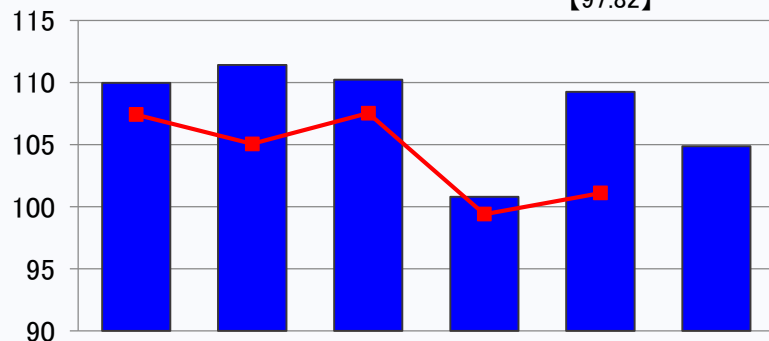
	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	149.64	146.81	149.55	151.27	150.74	143.68
類似団体	254.19	259.56	248.92	294.73	301.23	-



1.経営の健全性・効率性

⑤料金回収率(%)

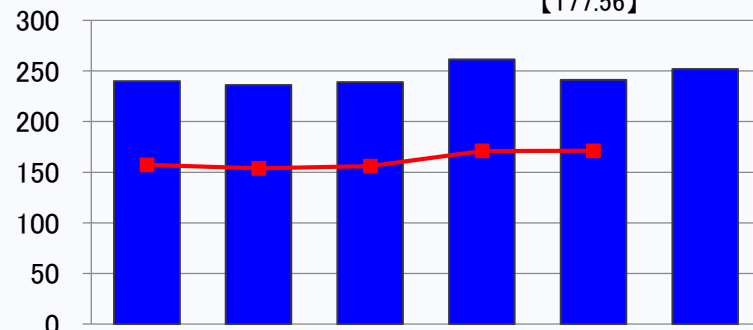
【97.82】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	109.98	111.42	110.24	100.82	109.26	104.89
類似団体	107.42	105.07	107.54	99.41	101.11	-

⑥給水原価(円)

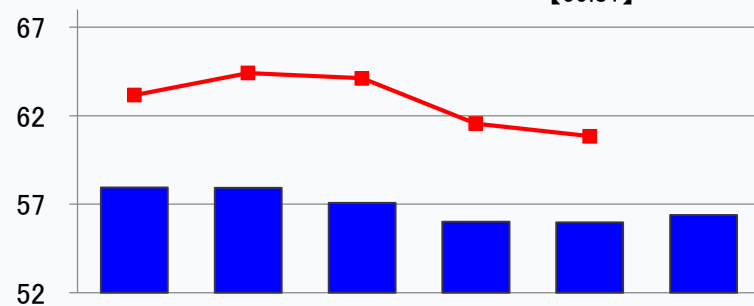
【177.56】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	239.94	236.16	238.80	261.46	241.12	251.94
類似団体	157.19	153.71	155.90	170.87	171.09	-

⑦施設利用率(%)

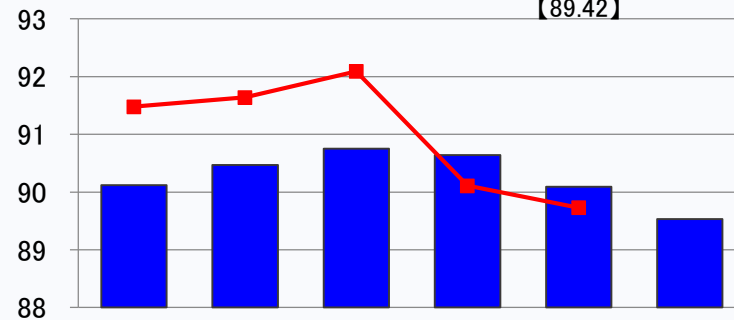
【59.81】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	57.95	57.93	57.08	56.01	55.97	56.40
類似団体	63.16	64.41	64.11	61.56	60.84	-

⑧有収率(%)

【89.42】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	90.12	90.47	90.75	90.64	90.09	89.53
類似団体	91.48	91.64	92.09	90.11	89.73	-

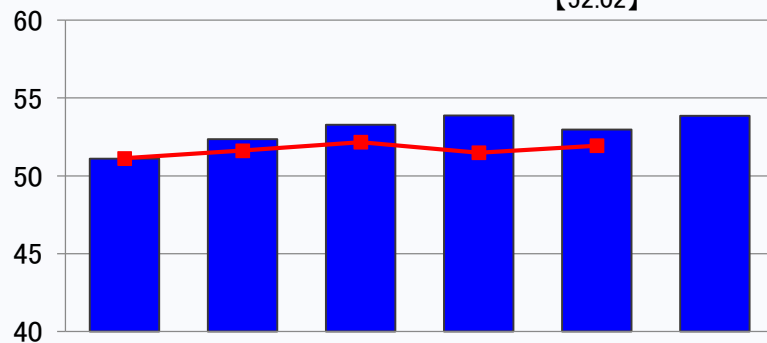
グラフ凡例

■ 企業団
 ■ 類似団体
 【 】 全国R05

2.老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

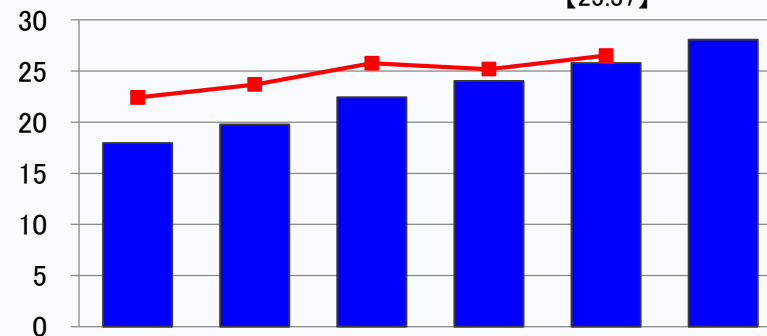
【52.02】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	51.11	52.35	53.27	53.87	52.97	53.85
類似団体	51.13	51.62	52.16	51.49	51.94	-

②管路経年化率(%)

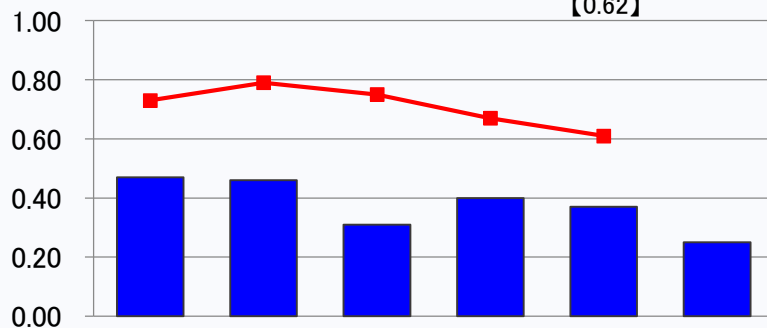
【25.37】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	17.97	19.79	22.43	24.02	25.78	28.06
類似団体	22.41	23.68	25.76	25.18	26.52	-

③管路更新率(%)

【0.62】



	R01	R02	R03	R04	R05	R06
企業団	0.47	0.46	0.31	0.40	0.37	0.25
類似団体	0.73	0.79	0.75	0.67	0.61	-

分 析 評 価

健全性

健全な状態を維持

経常収支率は100%を上回っており、累積欠損金も発生していない。

料金回収率も100%を上回っているため、料金収入で費用が賄えている状態であり、経営状態は健全な状態を維持している。

効率性

悪くなってきている

給水面積が広く管の布設距離が長い一方、人口密度が低いため効率性の悪い地域である。

また、一日平均配水量の増加により施設利用率は前年度より僅かに増加したが、効率性は悪化している状況にある。

老朽化の状況

老朽化が進んでいる

減価償却率、管路経年化率ともに上昇し、老朽化が進んでいる状況にある。これは、法定耐用年数での更新ではなく、施設の状態を把握しながら、更新を行っているためである。

今後も人口減少や少子高齢化社会、節水型社会への移行が加速し、料金収入が減少していくことが予想されます。さらに、労務費や物価が上昇するなか、施設の老朽化に伴う更新費用の増加など、より厳しい事業運営が見込まれております。

今年度は、第4次水道事業総合計画の第2回目の改定、その実施計画となる第12次中期財政計画を策定し、効率的な事業運営、将来にわたる健全経営の維持に努めて参ります。

ご清聴ありがとうございました